

ふるさと通信 Vol. 94

2018年11月



瀬祭向けの山田錦の稲刈りも終了し、本格的に来作に向けた準備を開始！まずは堆肥撒きと田んぼの整地や補修をして、これから秋の耕耘と緑肥の種蒔きを行います。普通は稲刈りが終わると春まで田んぼはそのまま人が多いのですが、気象変動の激しい年が続いているので、これまで以上に土作りが重要になってくるかもしれません。うちは稲刈り後の作業の方がむしろ沢山あって忙しいくらいです。気がつけば11月、雪が降り始めるまであとわずかなので、予定した作業を全て完了できるよう頑張ります！

粃殻と米ヌカ、醤油粕を原料に発酵させた自家製堆肥は、ほのかに甘いいい香りがしますー。



美味しいお米作りに土作りはかせません！

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>



山から赤トンボ達が産卵のために戻ってきました！日が差し気温が上昇すると、どこからともなく集まって来て空を埋め尽くします。夕日が当たると赤トンボ達の羽根が輝き、キラキラ空間に！



いっぱい卵を産んで、来年もたくさん育てて欲しいなあ。



整地キャリアで田んぼの高いところから低いところへ土をずらしたり、排所升の周りに空いた穴を埋めて補修したり。



穴ぼこ1つ埋めるにも、てっぱ作業だと一苦労。ユンボが欲しくなりますが、体力づくりと思えばいいもんかなあ。

11月のオマケは、バアバの畑で穫れたジャガイモです。少量ですが、ホクホクして美味しいと思います。朝晩めっきり冷え込むようになってきました。体調等くずされませんようご自愛ください。それでは、今後ともよろしくお願いたします。

2018年11月1日

ホームページ：<http://www.kanaya-farm.jp/>

金谷 武志

Eメール：info@kanaya-farm.jp